

令和2年度

事業計画書

令和2年4月 1日から

令和3年3月31日まで

公益社団法人 滝川スカイスポーツ振興協会

基本方針

わが国では、高齢化が進み、当協会においても高齢のため退会される会員や、航空身体検査に合格できなくなった会員がみられるようになってきた。そのため、会員数が漸減傾向にある。一方、大学生等、若い世代で熱心に取り組むユース会員は増えている。しかし、若手会員の中には、学校卒業後、就職・進学してから、スカイスポーツを続けることができなくなる方々も多い。今後、これらの若い世代が、継続してスカイスポーツと関わりを持ってもらえるようにすることが、今後の課題である。

一方、観光面を見た場合、アジア圏からの観光客が大きく増加し、各自治体では、これらの客をターゲットとした対策を打ち出している。空知地域では、他の地域との差別化を図る分野の一つとして、スカイスポーツ振興を打ち出し、訪日外国人を取り組む方策を講じることが考えられ、当協会でもこの事業に積極的に協力する必要がある。それらのことを考慮しつつ、健全な協会経営と次世代に対する啓発などの投資的事業を両立させ、公益法人としての使命を全うするとともに、国内のグライダー活動の先導的役割を果たすことでスカイスポーツの振興を図る。

事業活動

I スカイスポーツに関する人材育成及び啓発普及、並びに地域の発展に寄与する事業 (公益目的事業1)

1 スカイスポーツに関する人材の育成事業

北海道の豊かな空域資源を活用して、国内外の人たちにグライダーを初めとするスカイスポーツ航空機の操縦技術や整備技術を伝承することで、良質な指導者を養成し、もって多くの人々に安全で楽しいスカイスポーツの提供に寄与する。

1. 1 操縦指導事業

1. 1. 1 スクール・キャンプ事業

① グライダースクール

・サマートレーニングコース

8回実施する（各15名程度）

第1回：5月18日～5月22日

第5回：8月24日～8月28日

第2回：6月1日～6月5日

第6回：9月7日～9月11日

第3回：6月15日～6月19日

第7回：9月28日～10月2日

第4回：8月3日～8月7日

第8回：10月5日～10月9日

・ウィークリーコース

シーズン中の平日に随時実施する。

・ウィークエンドコース

シーズン中の土日祝日に実施する。

② グライダーキャンプの受入

学生及び社会人の合宿を受け入れる。

受入期間：7月27日（月）～7月31日（金）

1. 1. 2 指導者・選手養成事業

① アシスタントインストラクター制度

操縦教育証明（滑）取得希望者に対し、有資格者とのグライダー互乗などを

通して、アシスタントインストラクターとして経験を積み重ねることで、操縦教員の養成を推進する。

1. 1. 3 審査資格事業

① 特定操縦技能審査

自家用操縦士（滑空機、動力滑空機）に対する特定操縦技能審査を実施する。

② 各種受験に関する指導

- ・航空従事者技能証明等の試験に関する指導及び実地試験の受入
実地試験予定時期：10月
- ・日本滑空記章、国際滑空記章に関する指導及び試験の実施
実施時期：不定期

1. 2 整備支援事業

協会所有の整備施設を活用して、たきかわスカイパークの常駐または外来航空機に対しての整備支援を行うと同時に、整備技術の伝承を行う。

1. 3 講習会事業

1. 3. 1 各種講習会の実施（講師派遣）

① 愛好者を対象としたスカイスポーツ講習会の開催

- ・異常姿勢回復訓練（EMFT）講習会の開催
実施期間：未定
対象：北海道内の滑空団体に所属する希望者
講師：未定

② スカイスportsを対象とした各種講習会への講師派遣

1. 4 競技会の開催・支援事業

1. 4. 1 クロスカントリーキャンプの実施

クロスカントリーフライトを目標としているパイロット（希望者）に対して、グライダーによるクロスカントリーフライトの理論提供と実践を行うキャンプを実施することで、積極的かつ安全なフライトの支援を行う。

実施期間：5月16日（土）～5月22日（金）

1. 5 団体連携事業

1. 5. 1 国際交流事業の推進

① 操縦教員の派遣

冬季間、南半球を訪れる日本人に対し、ニーズに合致した教育支援を現地グライディングセンターと協同して実施するとともに、コーチング技術や滑翔技術の向上を図る。

期間：令和2年12月～令和3年2月、各3週間程度

派遣先：オーストラリア及びニュージーランド

派遣者：操縦教員2～3名

② 曳航パイロットの招聘

各種飛行事業を円滑に行うために、曳航パイロットを招聘する。

期間：5月中旬～10月中旬、延べ20週間

招聘先：オーストラリア

招聘者：2名

1. 5. 2 国内滑空団体との連携

国内の滑空団体と連携を進め、人的交流や情報交換を促進し、滑空スポーツの活性化や安全対策の強化を図る。また、海外のグライダー界の状況や、国内の愛好者の動静に注意を払い、国内外を問わず、多くの機会・媒体を捉えて、積極的に情報の収集・発信を行う。

① ホームページを最新の情報、一般の人にも認知されやすい内容にしていくとともに、フェイスブックや掲示板を活用した情報発信を行う。

② 国内外のグライダークラブとの連携

(公社)日本滑空協会、北海道滑空協会を支援しつつ、全国グライダークラブミーティング等の情報交換の場に積極的に参画し、国内のグライダークラブとの情報交換を密に行う。また、海外のグライダークラブとの連携を図り、グライダー操縦技術・安全対策の向上のための情報収集を行う。

2 啓発普及事業

若年層へのスカイスportsの普及を図ると同時に、近隣小中学校などの教育機関との積極的な連携を図る。また、現在使用されているグライダーのみならず、ヴィンテージグライダーが一般市民の目に触れる機会を増やすことで、グライダーの知名度向上を図る。さらに、模型航空機などの団体と連携を取り、グライダー以外のスカイスportsの啓発に努める。

2. 1 体験・青少年育成事業

2. 1. 1 児童・生徒を対象とした体験学習の受入

① 滝川市内全小学校および周辺市町小学校の4～6年を対象に、各校1学年の児童のモーターグライダーや軽飛行機による体験学習を行う。

時期：6月～7月及び10月

② 小中学校の児童・生徒の体験学習及び施設見学を受け入れる。

時期：随時

2. 1. 2 こどもの日イベント「こどもたちに大空のプレゼント」の開催

道内の子供たちを対象に、軽飛行機、モーターグライダーやグライダーの体験搭乗及び紙飛行機教室を実施する。

開催日：5月5日（火）

対象：道内の小学生

予定人数：体験飛行55名

2. 1. 3 青少年会員の活動

地域の小中高校生を対象に、空に接する機会をつくと同時に、グライダー操縦練習活動を充実させる。また、グライダー愛好者の底辺を広げるため、青少年会員の増を図る。

年齢：10歳以上 17歳以下

優遇措置：入会金免除、年会費・飛行会費等の青少年会員料金設定

2. 1. 4 ユース会員の支援

学生および学校を卒業した後もグライダー活動を継続しようとする若手を支援する。

年齢：26歳以下

優遇措置：入会金免除、年会費・サマーレーニングコース参加費等の割引

2. 1. 5 グライダー等による体験飛行会の実施

① 滝川市民対象

実施期間：7月22日（水）～7月25日（土）

予定人数：400名

② 一般市民対象

実施期間：4月中旬～11月上旬の間に随時

予定人数：1,000名

③ 滝川市ふるさと納税への協力

滝川市が実施しているふるさと納税の返礼品として、グライダー体験飛行券を提供する。

2. 1. 6 「そらぷちキッズキャンプ」の支援

（公財）そらぷちキッズキャンプが実施する、難病とたたかう子どもたちを対象としたキャンプのスカイスポーツ体験プログラムやツアープログラムに協力する。

2. 2 文化振興事業

2. 2. 1 古典グライダー活用事業（ヴィンテージグライダー復旧プロジェクト）

全国の古典機愛好者と連携して、航空文化財として歴史的価値の高いヴィンテージグライダー（古典機）の国内唯一の修理・展示・飛行を総合的に行える施設の整備を迫するとともに、世界の古典機クラブとの連携を模索する。

① ヴィンテージグライダー（シェンプ・ヒルト式Gö3ミニモア、ヨゼフ・オベラーヒナー式MG19シュタインアドラー及び萩原式H-23C IIIのうち2機程度）の耐空証明取得

② イベント等において、飛行展示、地上展示を行い、ヴィンテージプロジェクトの広報の実施

③ 体験飛行会の実施

④ 関連資料の分類・整理・公開

3 地域の発展に寄与する事業

滝川市及びたきかわ観光協会等と連携して、「空」をテーマとした体験型観光事業を推進するとともに、地域振興に寄与する事業の展開を積極的に開催・支援する。また、スカイスポーツ関連の情報を収集・発信する。さらに、たきかわスカイパーク利用者の満足度を高めるため、各種の施設提供事業を行う。

3. 1 イベント開催・支援事業

3. 1. 1 イベントの開催

① サマースカイフェスタ2020の開催

開催日：7月26日（日）

場所：たきかわスカイパーク

主催：（公社）滝川スカイスポーツ振興協会
滝川市

開催内容：未定

来場者数目標：10,000名

3. 1. 2 航空祭の支援

道内各地で行われる航空に係るイベントに積極的に参加し、グライダースポーツ及び「スカイスポーツのまち滝川」の周知を図る。また、一般のイベントにも積極的に参加する機会を求め、広くグライダー活動の周知に尽力する。

① 第31回札幌航空ページェント

開催日：5月24日（日）

主催：北海道航空協会

支援内容：未定

② 千歳基地航空祭

開催日：7月19日（日）

場所：航空自衛隊千歳基地

主催：航空自衛隊

支援内容：未定

3. 2 観光客受け入れ事業

フライトシーズン中、観光客の体験飛行を受け入れる。

3. 3 スカイパーク施設の管理・運営事業

滝川市から委託される予定のたきかわスカイパークの指定管理者として、施設運営及び事業を展開する。

3. 4 情報提供事業

たきかわスカイパークを利用する航空機、及び周辺上空を飛行する航空機に対して、気象情報や航空交通情報の提供等、必要な飛行支援を行う。

II 利用者への施設提供事業（その他事業1）

1 利用者への施設提供

たきかわスカイパーク利用者に対し、以下のようなサービスを提供する。

①たきかわスカイパーク利用者への宿泊施設の提供

②たきかわスカイパーク来場者への飲食物の提供

③スカイスポーツ関連の物品の販売

航空安全

スタッフ、会員及び飛行関係者の安全意識を喚起して、危険に対しての的確な予見と、基本的で確実な危険回避動作を実施し、航空無事故を目指す。

無事故目標： 2,132日

管理部門

1 会員

各種イベント、体験飛行等を通じ、個人会員の入会勧誘を積極的に進める。併せて、近隣市町に所在する個人・法人に対する当協会への理解を深めてもらうよう働きか

けると同時に、正会員・賛助会員への入会を積極的に勧めていく。

2 公益社団法人の運営に関する情報公開

ホームページ等を活用して、当協会の運営に関する情報公開を進める。

3 業務執行体制の整備と強化

地元企業との連携を深くし、互恵関係を強化していくと同時に、業務管理体制を充実させ、運航体制の強化を図る。また、ボランティアスタッフの協力を得ながら、各種事業の円滑な実施を目指す。

4 その他

消費税増税、航空機燃料、整備資材等の価格上昇にともなう収支の均衡を保つため、経費節減に努めると同時に、取捨選択による効率的な資源の活用を図る。